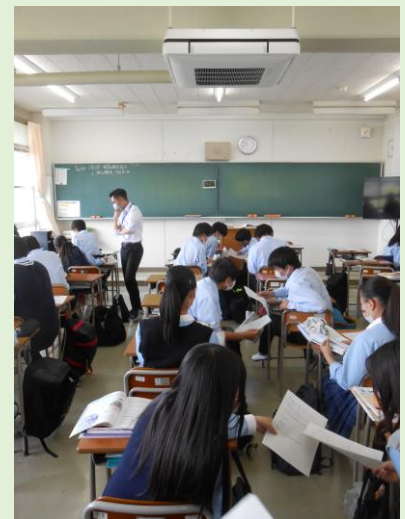


# 1年「化学基礎」の授業の様子です。

令和5年5月10日

授業の冒頭に、その時間の目標が示されます。

授業の終わりには、その目標を踏まえて、何を学んだかを生徒一人ひとりがまとめます。  
そして、次の授業のはじめ、生徒がペアで前の時間に学んだことを伝え合います。(振り返りの活動)  
オーソドックスな手法ですが、そのペアワークの活気が凄いので、授業を取材しました。  
生徒は自分のことばで、はきはきと学習内容を説明しています。



温度が高いと、粒子の熱運動が激しくなる。  
そうすると、粒子の衝突回数が増える。  
だから、そういった状態では、化学反応が進みやすくなる。

授業者からの指定語：「熱運動」、「衝突回数」



濡らしたペットボトルの中に線香の煙を入れ、そこに、炭酸キーパーで空気を入れて圧力をかけた実験… その後、フタを開けると、圧力が急に下がる。すると温度も下がる。結果、飽和水蒸気量も下がるので、霧ができる。

授業者からの指定語：「圧力」

